

# Panasonic

虹彩入退室管理システム

## 管理ソフトウェア 取扱説明書

品番 **BM-ES500**

### インストールガイド

このたびは、管理ソフトウェアをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。

本書は、システム管理者による管理をお勧めします（一般の利用者に開示するとセキュリティが損なわれる可能性があります）。

#### **ご注意**

- ・この製品は盗難などを未然に防止するものではありません。また、本製品に関連して発生した被害に対して、一切保証は行いません。
- ・虹彩情報を外部から確認できない等の理由で、登録および認証できないことがあります。
- ・虹彩情報は、個人情報です。管理用 PC に登録された虹彩情報（画像データ）が漏洩しないよう、管理・取り扱いには十分に注意してください。また、虹彩情報を登録するときは本人の同意を得ることをお勧めします。

Microsoft、Windows、Windows 2000 は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他一般に各会社名、各製品名は、各社の商号、商標または登録商標です。

# はじめに

このたびは、「虹彩入退室管理システム 管理ソフトウェア」(以下、本ソフトウェア)をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書では、「虹彩入退室管理システム」のソフトウェアを、管理装置及び制御ユニットにインストール、セットアップするための標準的な手順、および運用に必要な設定項目について記述します。

本ソフトウェアの操作は Administrator の権限を持つアカウントで行ってください。  
本マニュアル目次の項番順に作業を実施してください。

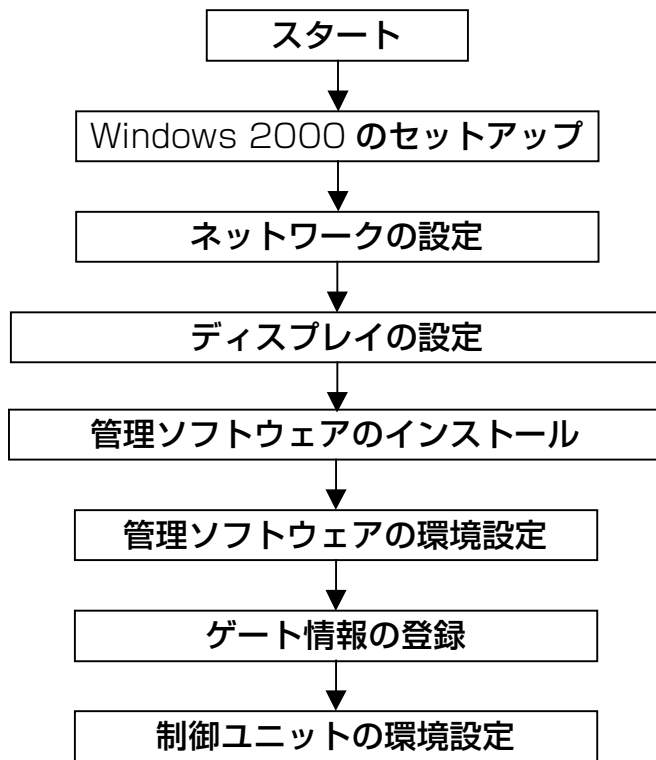
## 必要動作環境

CPU	: PentiumⅢ相当 600MHz 以上
メモリ	: 128MB 以上
HD 容量	: 20GB 以上
ディスプレイ	: 256 色以上、1024×768 ピクセル以上の解像度
NIC	: 10BASE-T/100BASE-TX
OS	: Microsoft Windows 2000 ServicePack2

## ■ インストールに必要なとなる物

項番	品名	記事
1	虹彩入退室管理システム 管理ソフトウェア	CD-ROM
2	Windows 2000 Professional (Recovery CD-ROM)	CD-ROM (PC の添付品)

■ 概略フロー



# 目次

1	管理装置の各種ドライバのインストールと設定 .....	6
1.1	Windows 2000 のセットアップ.....	6
1.1.1	Windows 2000 のセットアップ.....	6
1.2	ネットワークの設定 .....	7
1.2.1	NetBEUI プロトコルのインストール .....	7
1.3	ディスプレイの設定 .....	8
1.3.1	解像度の設定 .....	8
2	管理ソフトウェアのインストール .....	9
3	管理ソフトウェアの環境設定.....	13
3.1	自動バックアップの設定 .....	13
4	ゲート情報の登録(管理装置での操作).....	15
4.1	ゲート登録 .....	15
4.2	管理ソフトウェアの起動 .....	18
4.3	配布先グループの設定 .....	19
5	制御ユニット(登録機/照合機)の環境設定 .....	21
5.1	制御ユニットのネットワーク設定 .....	21
5.2	制御ユニットの初期設定 .....	23
6	AP ログオンの設定 .....	38

# 1 管理装置の各種ドライバのインストールと設定

## 1. 1 Windows 2000 のセットアップ

### 1. 1. 1 Windows 2000 のセットアップ

#### (1) 名前、所属の指定

管理者の名前及び所属を指定します。

#### (2) ライセンス No.の入力

Windows 2000 のライセンス No.を入力してください。

#### (3) その他の設定

その他は画面の指示に従って作業を進めてください。

#### (4) マシンの再起動

設定が終了すると、再起動のメッセージが表示されます。

画面の指示に従って再起動してください。

注) Windows のサスペンドモード、休止状態機能はオフにしてください。

注) ファイアウォール機能を持つソフトウェアをインストールした場合は、TCP/IP を用いた制御ユニットとの通信を送受信可能に設定してください。

## 1. 2 ネットワークの設定

### 1. 2. 1 NetBEUI プロトコルのインストール

#### (1) ネットワークプロトコルの指定

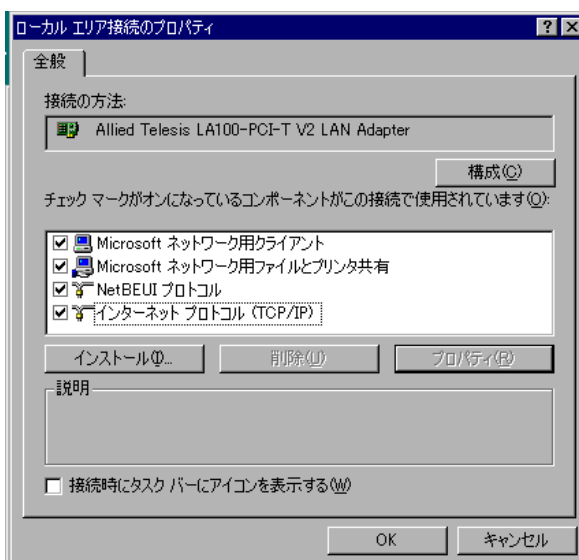
プレインストールマシンでは、TCP/IP のみインストールされています。NetBEUI プロトコルのインストールを行ってください。

「コントロールパネル」の「ネットワークとダイヤルアップ接続」アイコンをダブルクリックし、「ローカルエリア接続」のプロパティを開き、「インストール」ボタンを押します。

「ネットワークコンポーネントの種類の選択」では「プロトコル」を選択し、「追加」ボタンを押します。

「ネットワークプロトコルの選択」で「NetBEUI プロトコル」を選択し、「OK」ボタンを押します。

「NetBEUI プロトコル」がインストールされます。



また、「インターネットプロトコル(TCP/IP)」の「プロパティ」で IP アドレス、サブネットマスクなどを設定してください。

## 1.3 ディスプレイの設定

### 1.3.1 解像度の設定

画面のプロパティで画面の解像度を以下のように設定してください。

画面の領域：1024 x 768 ピクセル

画面の色：256色以上



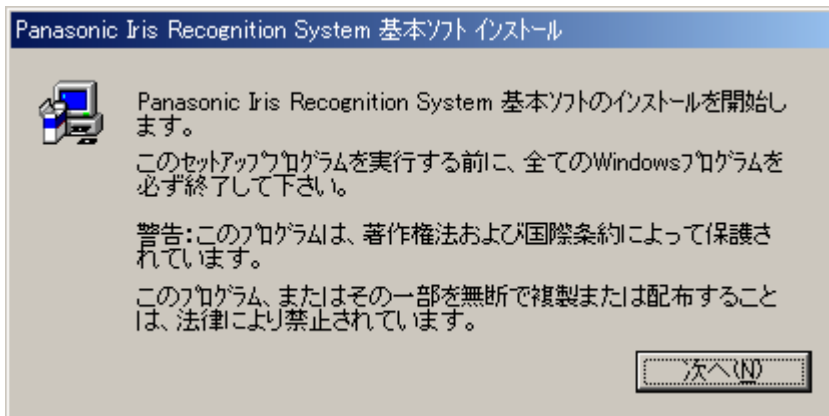


## 2 管理ソフトウェアのインストール

(1)管理ソフトウェアの CD-ROM を、CD-ROM ドライブにセットします。

(2)CD-ROM 内の、Setup.bat を起動します。

起動後、下図に示す管理ソフトウェア基本ソフトのインストール開始のダイアログボックスが表示されます。  
[次へ]ボタンをクリックするとインストールを続行します。



(3)登録用カメラの IP アドレスを設定し、[インストール開始]ボタンを押します。



注)インストール先ディレクトリは、“C:\iriscan” から変更しないでください。

(4) ファイルのコピーを開始します。

[インストール開始]ボタンを押すと、インストール先ディレクトリの確認ダイアログボックスが表示された後、右図に示すメッセージが表示されますので、[はい]を選択してください。ファイルのコピーが開始されます。



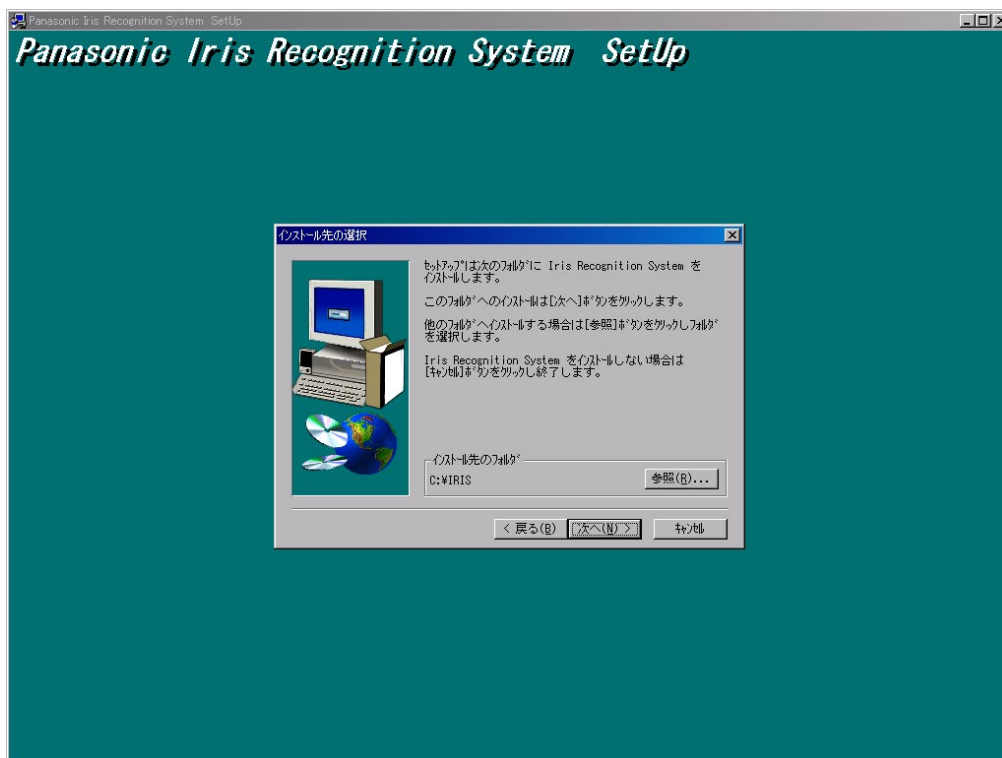
(5) 基本ソフトのファイルのコピーが正常に終了すると、右図に示すダイアログボックスが表示されますので、[OK]ボタンを押してください。



(6) 右図に示すダイアログボックスが表示されますので、[OK]ボタンを押してください。



- (7)基本ソフトのインストールが終了すると、自動的に虹彩入退室管理システムのインストールが始まり、以下の画面が表示されます。



- (8) [次へ]ボタンを押すとインストールが開始されます。  
キャンセルボタンを押すとインストールを中断して終了します。

- (9) インストール先の選択ダイアログでは、  
[次へ]ボタンをクリックして、インストールを、進めてください。

注)インストール先ディレクトリは、“C:¥IRIS” から変更しないでください。



(10)ファイルバックアップの確認の画面が表示されたら、

[ファイルバックアップ済み]をチェックして[次へ]をクリックしてください。

注) 初期インストールでは、本画面は、表示されません。

注) ファイルのバックが済んでいないときは、「キャンセル」ボタンをクリックしてインストールを中断してください。ファイルをバックアップした後、再びインストールを行ってください。



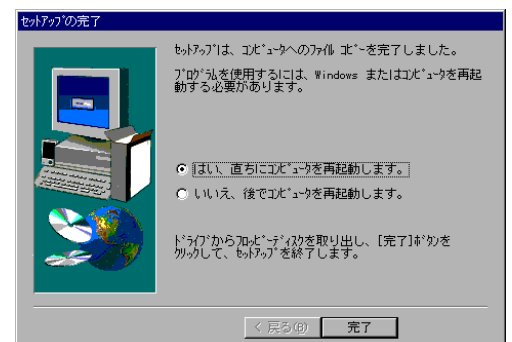
(11)プログラムフォルダを指定する画面が表示されたら、[次へ]ボタンをクリックしてください。

ファイルのコピーが開始されます。



(12)セットアップ完了の画面が表示されたら、

[完了]ボタンを押して、再起動を行います。



## 3 管理ソフトウェアの環境設定

### 3.1 自動バックアップの設定

#### (1) バックアップスケジュールの登録

- ① スタートメニューから、「プログラム」－「アクセサリ」－「コマンドプロンプト」を実行します。
- ② `cd△c`：¥iris と入力し、Enter キーを押下します。(△はスペースを表します)
- ③ `irisfbakatentry` と入力し、Enter キーを押すと、自動ファイルバックアッププログラムがスケジュール登録されます。  
注：登録済みのスケジュールはすべて削除され、新しいスケジュールに置き換えられます。
- ④ `at` と入力し、Enter キーを押すと登録されたスケジュールを確認できます。
- ⑤ コマンドプロンプトを終了します。

注) コンピューターの時刻を変更した場合、上記①～④の操作を再度行なってください。  
(スケジュールが無効化されるため)

注) 手動バックアップを行う場合、上記①～④の操作は必要ありません。

注) デフォルトの設定では登録済スケジュールをすべて削除し、

マスターファイル：c:¥IRIS¥BackUp¥Master フォルダに 1 世代分、毎月 1 日 1：00

イベントファイル：c:¥IRIS¥BackUp¥Event フォルダに 12 世代分、毎月 1 日 3：00

にそれぞれバックアップするスケジュールを登録します。

イベントファイルはバックアップ後、初期化されます。

```
コマンドプロンプト
Microsoft Windows 2000 [Version 5.00.2195]
(C) Copyright 1985-2000 Microsoft Corp.

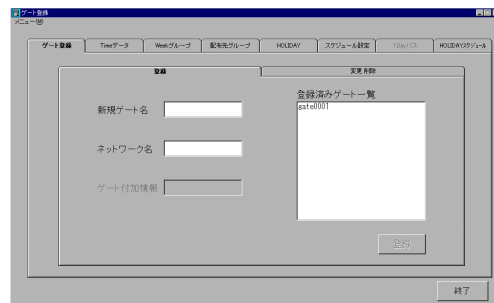
② → C:\>cd iris
③ → C:\IRIS>irisfbakatentry
C:\IRIS>at /delete /yes
C:\IRIS>at 1:00 /interactive /every:1 C:\Iris\IrisFBakMst.Bat
新しいジョブをジョブ ID = 1 で追加しました。
C:\IRIS>at 3:00 /interactive /every:1 C:\Iris\IrisFBakEvt.Bat
新しいジョブをジョブ ID = 2 で追加しました。
C:\IRIS>at
状態 ID   日付           時刻           コマンド ライン
-----
1   毎 1           1:00           C:\Iris\IrisFBakMst.Bat
2   毎 1           3:00           C:\Iris\IrisFBakEvt.Bat
C:\IRIS>
```

## 4 ゲート情報の登録(管理装置での操作)

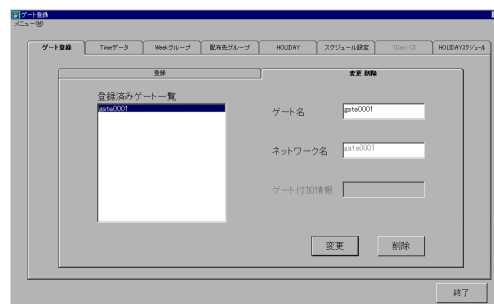
### 4.1 ゲート登録

(1)スタートメニューから「ファイル名を指定して実行」を選択し、「c: ¥Iris¥Iris.exe」を実行してください。

(2)右の画面が表示されます。  
インストール直後は、「gate0001」だけが登録されています。



(3)ゲート名を変更する場合は「変更・削除」タブを開いてください。  
「登録済ゲート一覧」からゲートを選択し、ゲート名を入力してください。  
「変更」ボタンを押してください。「登録済ゲート一覧」に変更が反映されます。



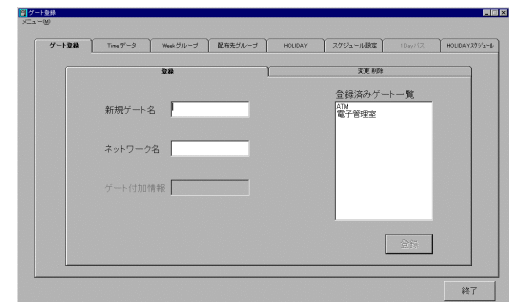
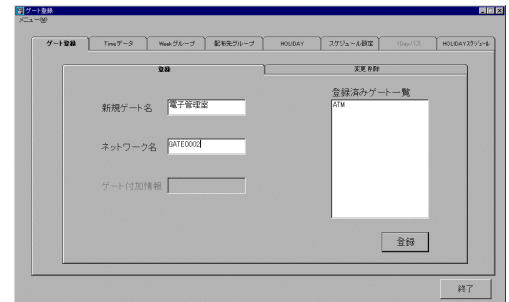
(4) 2 台目以降のゲートについては、接続されるゲート装置の台数分、新規登録してください。

【登録】 タブを開いてください。

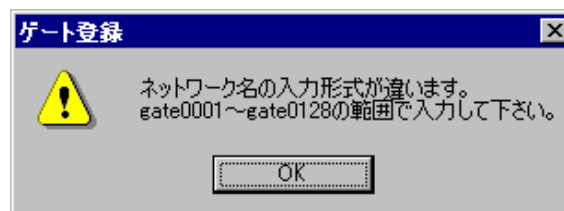
新規ゲート名とネットワーク名を入力してください。

ネットワーク名は gate0001～gate0128 の範囲で入力してください。

「登録」 ボタンをクリックすると、登録済みゲート一覧にゲート名が追加されます。



「ネットワーク名」のフィールドに不正な値を入力した場合は、以下のような警告メッセージが表示されます。メッセージに従い、正しく値を設定してください。

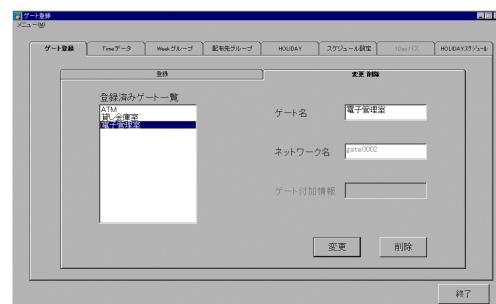




(5) 「登録済みゲート一覧」フィールドの上部にある、「変更 削除」タブをクリックします。すると、右のような画面が表示されます。



(6) 左側の「登録済みゲート一覧」の各ゲートをクリックして右側のゲート名とネットワーク名を確認してください。



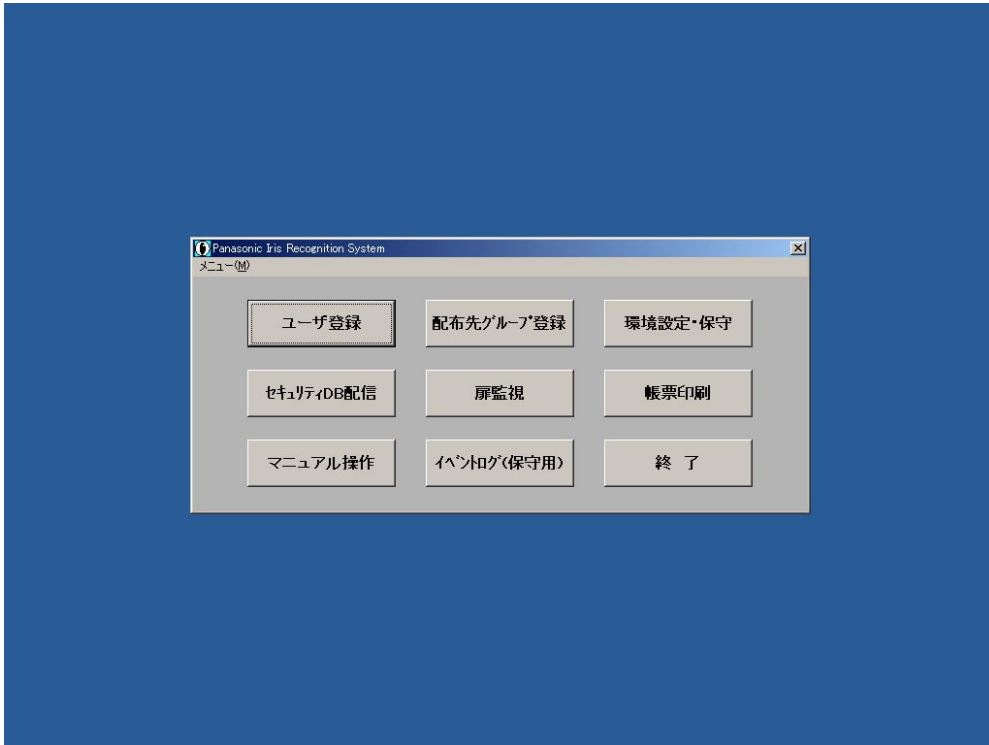
## 4. 2 管理ソフトウェアの起動

(1)ソフトウェアを起動します。

スタートメニューから「プログラム」－「Panasonic Iris Recognition System」－「Iris Menu」を選択すると、

以下のプログラムが起動されます。

- ・虹彩入退室管理システム 管理ソフトウェアメインメニュー
- ・イベントログ



注)タスクバー及びアイコンの非表示機能

管理ソフトウェアを起動したとき、上の図のようにタスクバー及びアイコンを隠すことができます。  
詳しくは販売店にお問い合わせください。



- (5) グループ化するゲートを確認したら、「登録」ボタンをクリックしてください。クリックすると配布グループが登録されます。登録直後の画面は、次の配布グループ登録のために、右のように初期の画面に戻ります。

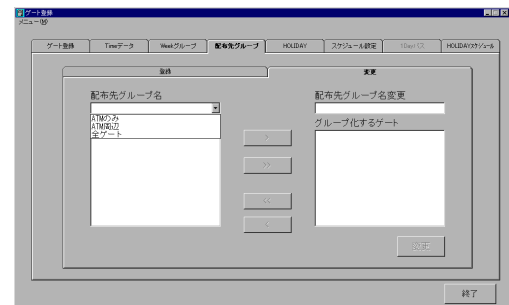


- (6) 複数の[配布先グループ]を登録する場合は、(2)~(5)の作業を繰り返してください。

- (7) 「配布先グループ名」フィールドの上部にある「変更」タブをクリックします。すると、右のような画面が表示されます。



- (8) 「配布先グループ名」から登録したグループ名を選択し、右側に表示されるグループ化したゲートを確認してください。



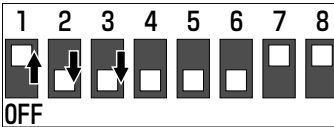
## 5 制御ユニット(登録機/照合機)の環境設定

### 5.1 制御ユニットのネットワーク設定

#### (1) 制御ユニットの電源投入：

制御ユニットのモード設定スイッチを IP 設定モードにして装置の電源を投入します。既に電源が入っている場合は、一度電源を落とした後、再度電源を投入してください。

モード設定スイッチの設定を下に示します。

動作モード	設定
IP 設定モード	

#### (2) IP 設定モードの確認：

電源投入後、30 秒くらいでアナウンシアータの「OK」「READY」LED が上下 2 ヶ所点灯するのを確認してください。

#### (3) IP アドレスの設定：

テンキーで「1 1 3 \* 0 0 2 #」と入力してください。

設定値をテンキーで入力してください。

例) IP アドレスを「1 9 2 . 1 6 8 . 1 . 2 0」に変更したい場合、

「1」「9」「2」「1」「6」「8」「0」「0」「1」「0」「2」「0」

と入力します。

テンキーで「1 1 3 \* 0 0 0 #」と入力してください。

設定表示 LED(7 セグ LED)に、終了(0 : 入力内容 OK)を表示します。

表示内容が 0 以外の場合は、エラーです。再度、設定し直してください。

#### (4) IP アドレスの確認：

一旦、電源を OFF にし、(1)、(2)の手順で電源を ON にしてください。

テンキーで「1 1 2 \* 0 0 2 #」と入力してください。

現在の設定値を設定表示 LED(7 セグ LED)に上位桁から 1 秒ずつ表示します。

設定表示 LED に設定値表示後、終了(0 : 入力内容 OK)を表示します。

#### (5) サブネットマスクの設定：

テンキーで「1 1 3 \* 0 0 3 #」と入力してください。設定値をテンキーで入力してください。

例) サブネットマスクを「2 5 5 . 2 5 5 . 2 5 5 . 1 2 8」に変更したい場合、

「2」「5」「5」「2」「5」「5」「2」「5」「5」「1」「2」「8」と入力します。

テンキーで「1 1 3 \* 0 0 3 #」と入力してください。

設定表示 LED(7 セグ LED)に、終了(0 : 入力内容 OK)を表示します。

表示内容が 0 以外の場合はエラーです。再度設定し直してください。

(6)サブネットマスクの確認

一旦、電源を OFF にし、(1)、(2)の手順で電源を ON にしてください。  
テンキーで「1 1 2 \* 0 0 3」と入力してください。  
現在の設定値を設定表示 LED(7 セグ LED)に上位桁から1秒ずつ表示します。  
設定表示 LED に設定値表示後、終了(0 : 入力内容 OK)を表示します。

(7)デフォルトゲートウェイの設定 :

テンキーで「1 1 3 \* 0 0 4 #」と入力してください。  
設定値をテンキーで入力してください。

例)デフォルトゲートウェイを「1 9 2 . 1 6 8 . 1 . 1」に変更したい場合、  
「1」「9」「2」「1」「6」「8」「0」「0」「1」「0」「0」「1」  
と入力します。

テンキーで「1 1 3 \* 0 0 0 #」と入力してください。  
設定表示 LED(7 セグ LED)に、終了(0 : 入力内容 OK)を表示します。  
表示内容が0以外の場合は、エラーです。再度、設定し直してください。

(8)デフォルトゲートウェイの確認 :

一旦、電源を OFF にし、(1)、(2)の手順で電源を ON にしてください。  
テンキーで「1 1 2 \* 0 0 4 #」と入力してください。  
現在の設定値を設定表示 LED(7 セグ LED)に上位桁から1秒ずつ表示します。  
設定表示 LED に設定値表示後、終了(0 : 入力内容 OK)を表示します。

※お買い上げ時、IP アドレス、サブネットマスクおよびデフォルトゲートウェイは以下のように設定されています。

IP アドレス : 1 7 2 . 2 7 . 1 . 2

サブネットマスク : 2 5 5 . 2 5 5 . 2 5 5 . 0

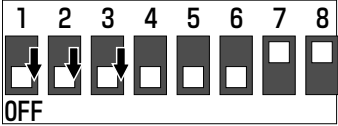
デフォルトゲートウェイ : 1 7 2 . 2 7 . 1 . 2 5 4

## 5. 2 制御ユニットの初期設定

(1)制御ユニットの電源投入(モード設定スイッチは環境設定モード)：

ゲート装置のスイッチを環境設定モードにして、制御ユニットの開閉センサーを手前に引き、装置扉を開けたままで電源を投入してください。

モード設定スイッチの設定を下に示します。

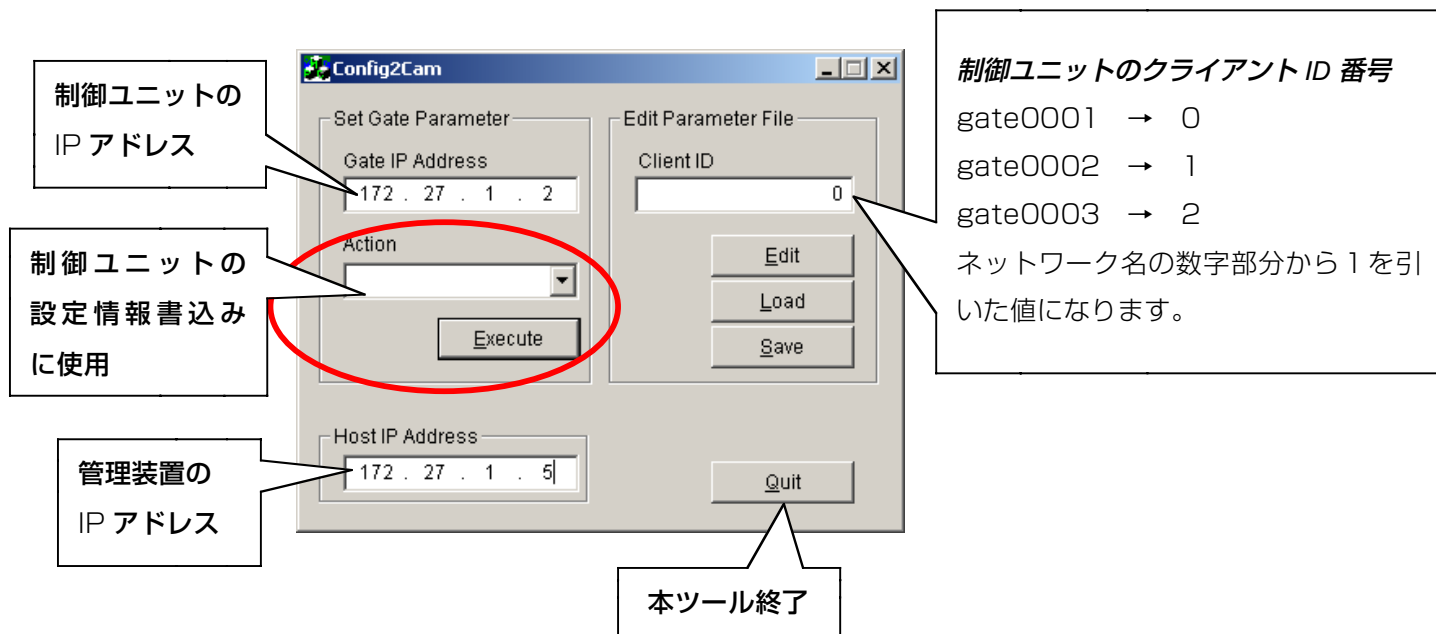
	動作モード	設定
	環境設定モード	

(2)初期設定ファイルの作成：

以下の手順に従って、制御ユニットに管理装置 IP アドレス、クライアント ID などの登録を行ってください。

①エクスプローラを起動してください。

②C : ¥Iris¥ConfigTool フォルダの、Config2Cam.exe をダブルクリックして起動すると、以下の画面が表示されます。

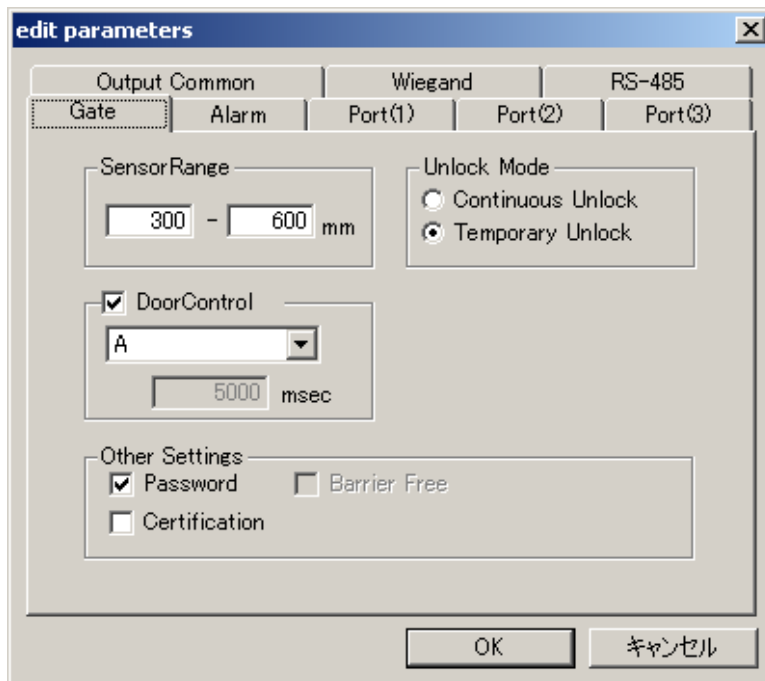


③制御ユニットおよび管理装置の IP アドレス、クライアント ID を入力します。



- ④下記の設定項目についてデフォルト設定から変更する場合、「Edit」ボタンを押した後、各タブをクリックし、設定してください。

<Gate タブ>



No.	設定項目	説明	設定範囲	デフォルト値
1	SensorRange	近接センサーの検知距離 (検知距離には誤差があります) 設定変更を行わないでください。	0-998	Min300mm Max600mm
2	Unlock Mode	非常解錠時の解錠動作 Continuous Unlock：連続解錠 Temporary Unlock：一時解錠	ラジオボタン	Temporary Unlock
3	DoorControl	ドア制御要否 ドアタイプ (A：扉開後施錠、B：扉閉後施錠、 OpenCollector：オープンコレクタ、 Wiegand、RS-485) A、Bの違いは、 解錠→扉開後の施錠タイミング オープンコレクタの場合のパルス幅	要/否 A/B/ Open Collector/ Wiegand/ RS-485 0-25500	要(チェック有) A 5000ms
4	Other Settings	Password パスワード運用要否	要/否	要(チェック有)
		Certification 上位認証機能要否	要/否	否(チェック無)
		Barrier Free バリアフリー対応要否 (同一扉の上下 2 台にカメラを設置する形態) 設定変更を行わないでください。	要/否	否(チェック無)

<Alarm タブ>

No.	設定項目	説明	設定範囲	デフォルト値
1	OpenAlarmStart	照合 OK 後、扉を開けない場合の警告音開始時間	3000-300000	10000msec
2	OpenAlarmBeep	照合 OK 後、扉を開けない場合の警告音の間隔 (0 を指定すると警告音無)	0-300000	3000msec
3	OpenTimeout	照合 OK 後、扉を開けない場合の自動再施錠時間	5000-300000	20000msec
4	CloseAlarmBeep	扉を一定時間以上開放時の警告音の間隔 (0 を指定すると警告音無)	0-300000	2000msec
5	CloseAlarmAtt	扉開放後、警告を管理装置に送信するまでの時間	5000-300000	30000msec
6	CloseNotifyTime	扉開放後、警告音開始時間	3000-300000	10000msec

<Port(1)~(3)タブ>

edit parameters

Output Common		Wiegand		RS-485
Gate	Alarm	Port(1)	Port(2)	Port(3)

Type  
 Break  Make

Event:	Port No.	Type.	Time.
Iris Identify OK(1)	None	Pulse	200
Iris Identify OK(2)	None	Pulse	200
Iris Identify NG(1)	None	Pulse	200
Iris Identify NG(2)	None	Pulse	200
Pswd Identify OK(1)	None	Pulse	200
Pswd Identify OK(2)	None	Pulse	200
Pswd Identify NG(1)	None	Pulse	200
Pswd Identify NG(2)	None	Pulse	200

OK キャンセル

edit parameters

Output Common		Wiegand		RS-485
Gate	Alarm	Port(1)	Port(2)	Port(3)

Event:	Port No.	Type.	Time.
Sensor ON(1)	None	Pulse	200
Sensor ON(2)	None	Pulse	200
Camera Error(1)	None	Pulse	200
Camera Error(2)	None	Pulse	200
Camera Error(3)	None	Pulse	200
Lock Door	None	Pulse	200
Unlock Door	None	Pulse	200

OK キャンセル

edit parameters

Output Common		Wiegand		RS-485
Gate	Alarm	Port(1)	Port(2)	Port(3)

Event:	Port No.	Type.	Time.
CU Stop	None	Level	
CU Restart	None	Level	
Door Open Alarm	None	Level	
Door Close	None	Level	
Lock NG	None	Level	
Lock NG Restore	None	Level	
Tamper ON	None	Level	
Tamper OFF	None	Level	

OK キャンセル

各イベントに対応して、制御ユニットのアラーム出力端子の状態を設定できます。

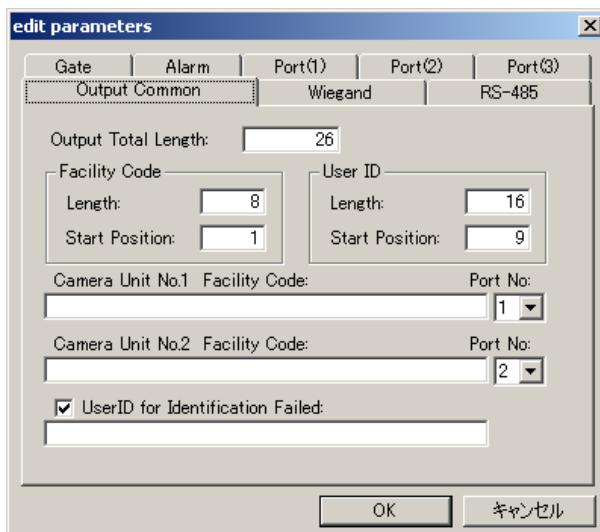
No.	設定項目	説明	設定範囲	デフォルト値
1	Type	接点の設定	Make/Break	Make
2	Event	接点出力するイベントの設定 Port No. (接点出力するポート No.) Type Time(Pulse 幅)	None/2-8 Pulse/Level 200/2000	None Pulse 200

#### 接点出力可能イベント一覧

No.	イベント	説明	レベル出力可否
1	Iris Identify OK(1)	カメラ1 アイリス照合 OK	不可
2	Iris Identify OK(2)	カメラ2 アイリス照合 OK	不可
3	Iris Identify NG(1)	カメラ1 アイリス照合 NG	不可
4	Iris Identify NG(2)	カメラ2 アイリス照合 NG	不可
5	Pswd Identify OK(1)	カメラ1 パスワード照合 OK	不可
6	Pswd Identify OK(2)	カメラ2 パスワード照合 OK	不可
7	Pswd Identify NG(1)	カメラ1 パスワード照合 NG	不可
8	Pswd Identify NG(2)	カメラ2 パスワード照合 NG	不可
9	Sensor ON(1)	カメラ1 人検知	不可
10	Sensor ON(2)	カメラ2 人検知	不可
11	Camera Error(1)	カメラ1 カメラユニット異常	不可
12	Camera Error(2)	カメラ2 カメラユニット異常	不可
13	Camera Error(3)	カメラ3 カメラユニット異常	不可
14	Lock Door	施錠	可
15	Unlock Door	解錠	可
16	CU Stop	制御ユニット動作停止	可
17	CU Restart	制御ユニット動作再開	可
18	Door Open Alarm	扉一定時間以上開放	可
19	Door Close	扉一定時間以上開放後、扉閉	可
20	Lock NG	電気錠異常	可
21	Lock NG Restore	電気錠異常復帰	可
22	Tamper ON	タンパ検知	可
23	Tamper OFF	タンパ復帰(タンパ解除)	可

<Output Common タブ>

Wiegand 出力および RS485 出力の共通項目の設定をします。

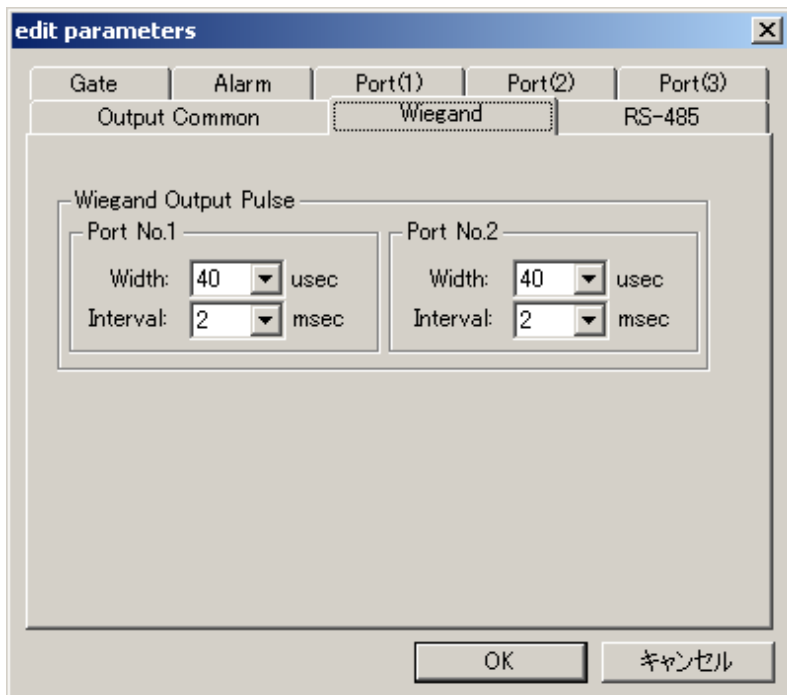


No.	設定項目	説明	Wiegand 設定範囲	RS-485 設定範囲	デフォルト 値
1	Output Total Length	出力信号のトータル長 (桁数) ※注 1	26-128	1-32	26
2	Facility Code	Facility Code の設定 Length : ファシリティコードの長さ Start Position : 出力データ中の開始位置	0-126 1-126	0-32 1-126※2	8 1
3	User ID	User ID の設定 Length : 照合 NG 時のユーザ ID の長さ Start Position : 出力データ中の開始位置	0-126 1-126	0-32 1-126※2	16 9
4	Camera Unit No.1	虹彩カメラ 1 での認証時の出力の設定 Facility Code : ファシリティコード Port No. : Wiegand 出力するポート番号	0-(2 <sup>126</sup> -1) 1, 2	0-(2 <sup>126</sup> -1) ※2	1
5	Camera Unit No.2	虹彩カメラ 2 での認証時の出力の設定 Facility Code : ファシリティコード Port No. : Wiegand 出力するポート番号	0-(2 <sup>126</sup> -1) 1, 2	0-(2 <sup>126</sup> -1) ※2	2
6	User ID for Identification Failed	認証 NG の場合に出力されるユーザ ID (リジェクトコード) チェック有 : 出力する チェック無 : 出力しない ユーザ ID	-1※3, 0-(2 <sup>126</sup> -1)	-1※3, 0-(2 <sup>126</sup> -1)	有 なし

- ※ 注 1 : Wiegand 出力を Gate タブで設定した場合は、パリティビット 2 ビットを含みます。  
RS-485 を Gate タブで設定した場合、トータル長は [Facility code Length] + [User ID Length] + [ETX] (1 桁) の長さより大きい値を設定してください。
- ※ 注 2 : RS-485 の場合、設定不要です。
- ※ 注 3 : -1 を設定した場合は、すべての桁を "0xFF" で出力されます。
- ※ 数字は 10 進数の整数で入力してください。
- ※ 指定した ID コード長に満たないユーザ ID を出力する場合は、足りない桁数分の "0" を上位桁に付けて出力されます。
- ※ 指定した ID コード長より長いユーザ ID の場合は、リジェクトコードが出力されます。
- ※ 設定を誤ると、コントロールユニット起動時に動作が停止します。

<Wiegand タブ>

Wiegand 出力の設定をします。



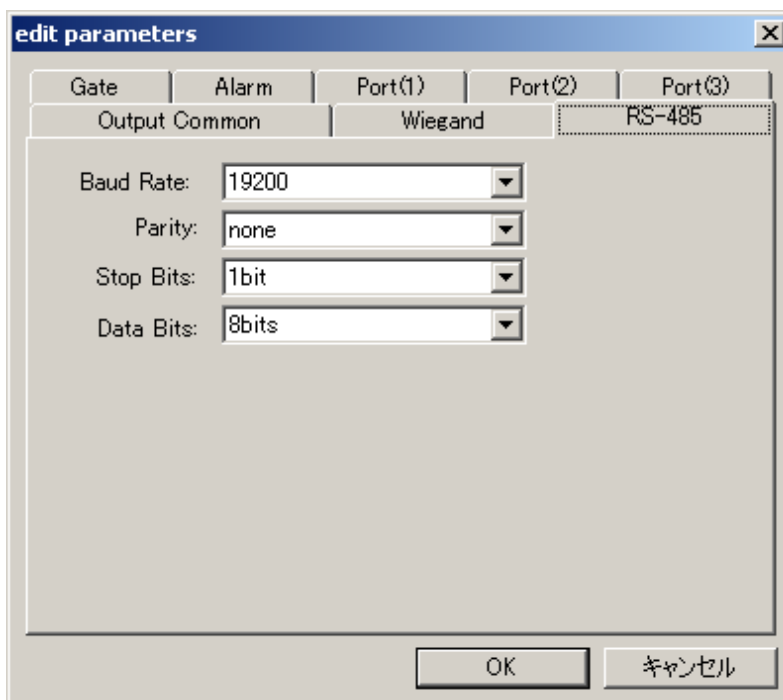
No.	設定項目	説明	設定範囲	デフォルト値
1	Wiegand Output Pulse	Port No. : Wiegand 出力するポート No. Width : 出力ビットの幅 Interval : 出力ビットの間隔	30, 40 $\mu$ sec 1, 2msec	40 $\mu$ sec 2msec

※ Wiegand 出力をする場合は、制御ユニットの DSW1 の 3 番を ON、4 番を OFF にしてください。



<RS485 タブ>

RS485 出力の設定をします。

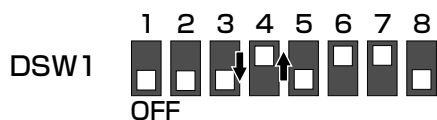


No.	設定項目	説明	設定範囲	デフォルト値
1	Baud Rate	ボーレートの設定	2400, 4800 9600, 19200 38400	19200
2	Parity	パリティの設定	none, odd, even	none
3	Stop Bits	ストップビットの設定	1, 2bits	1bit
4	Data Bits	データビットの設定	7, 8bits	8bits

※ 出力信号のフォーマットは次のようになります。

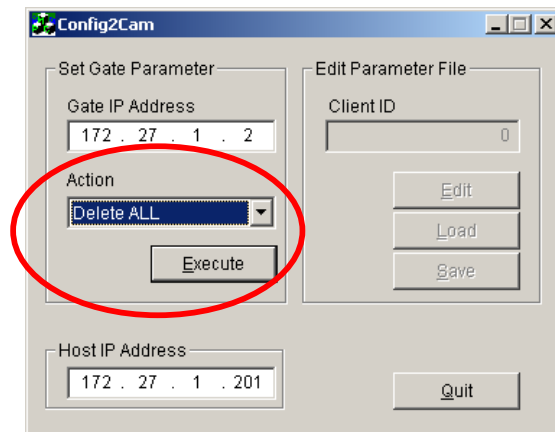
[STX] [Total Byte length(2Byte)] [Facility code] [ID code] [ETX]

※ RS-485 出力をする場合は、制御ユニットの DSW1 の 3 番を OFF、4 番を ON にしてください。

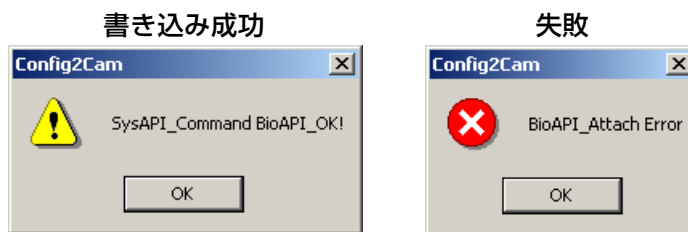


⑤設定が終わったら、「OK」ボタンを押し、「Config2Cam」の画面に戻ってください。

⑥お買い上げ時の設定を消去します。下の画面のように、Action に“Delete ALL”を選択し、Execute ボタンをクリックし、以下のように“SysAPI\_Command BioAPI\_OK!”が表示されれば正常です。エラーとなった場合は、ゲート装置の電源やLANケーブル、ゲート装置初期設定ファイルを再確認し、もう1度、Execute ボタンをクリックしてください。



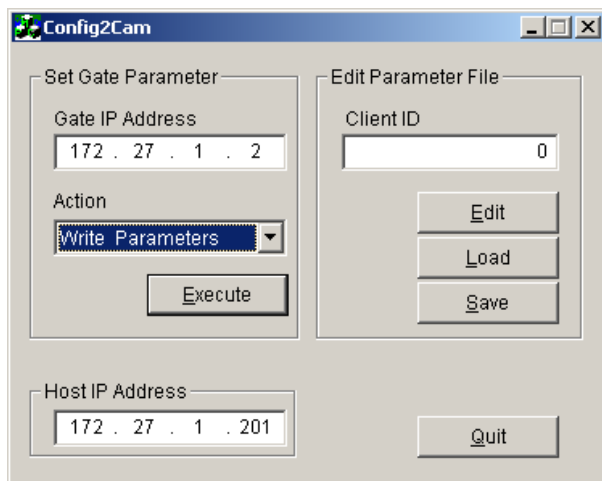
↓ Write ボタンクリック





⑦制御ユニットに各設定を書き込みます。下の画面のように、Action に“Write Parameters” を選択し、Execute ボタンをクリックし、以下のように“SysAPI\_Command BioAPI\_OK!” が表示されれば正常です。

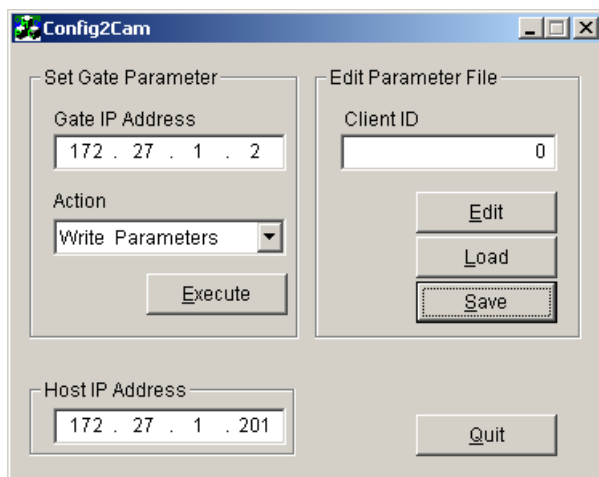
エラーとなった場合は、ゲート装置の電源やLANケーブル、ゲート装置初期設定ファイルを再確認し、もう1度、Execute ボタンをクリックしてください。



↓ Write ボタンクリック



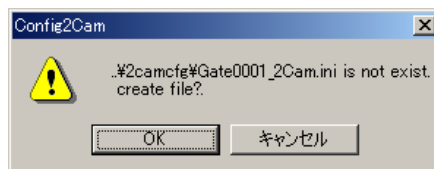
- ⑧ Save ボタンを押すと、初期設定ファイルが C:\¥Iris¥2CAMCFG フォルダに保存されます。ファイル名は GateXXXX\_2Cam.ini となります。例えばクライアント ID が 0 の場合は、Gate0001\_2Cam.ini となります。以下の確認ウィンドウが表示されますので、保存する場合は OK ボタンを押してください。



↓ Save ボタンクリック



すでに同名のファイルが存在し、  
上書き保存する場合



新規に保存する場合

- ⑨ Quit ボタンをクリックし、終了してください。  
エクスプローラも終了してください。

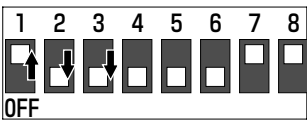
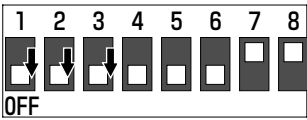
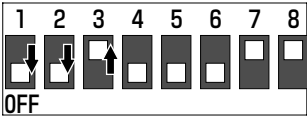
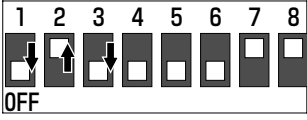
(3)制御ユニットの電源再投入(モード設定スイッチは運用モード)：

制御ユニットのモード設定スイッチを、目的の機器(登録機モード、照合機モード)にあわせ、電源を再投入してください。

電源再投入後、10秒以内に制御ユニットの装置扉を閉め、鍵を施錠してください。

**重要**：電源再投入後、10秒以内に装置扉を閉めないで、ブザーが鳴り、虹彩カメラによる登録・照合ができなくなります。

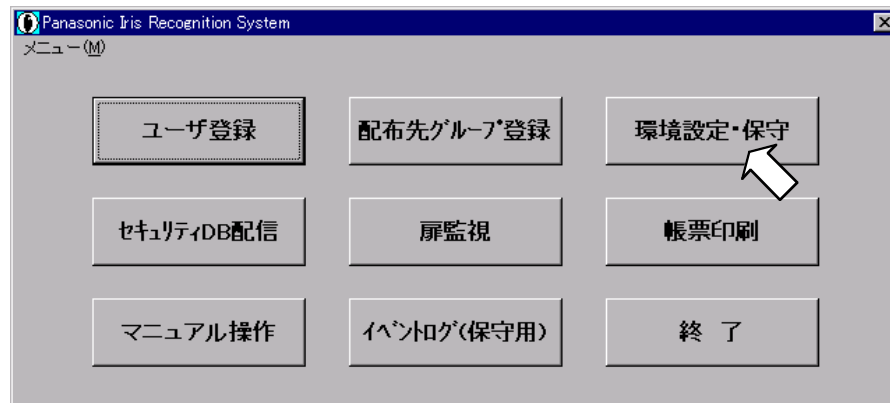
モード設定スイッチ設定一覧

No	動作モード	設定
1	IP設定モード	
2	環境設定モード	
3	登録機モード	
4	照合機モード	

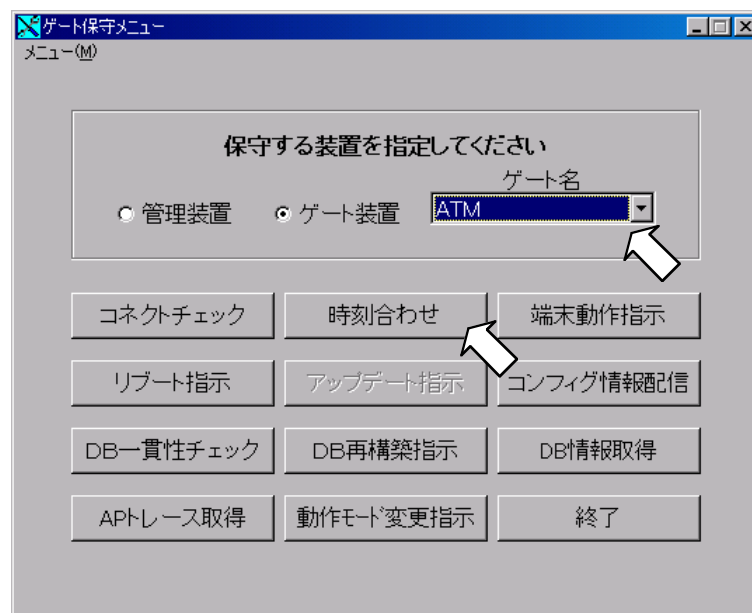
#### (4) 制御ユニットの時刻あわせ

制御ユニットの内部時計を、管理装置の時刻と合わせます。セットアップ時には必ずこの操作を行ってください。

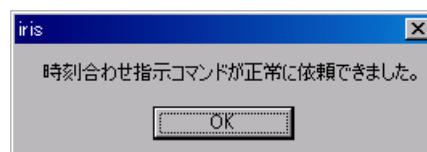
スタートメニューから「プログラム」 — 「Panasonic Iris Recognition System」 — 「Iris Menu」 を選択し、管理ソフトウェアを起動してください。メインメニューが表示されます。



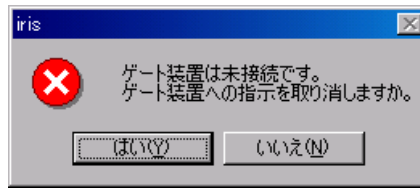
メインメニューの「環境設定・保守」ボタンをクリックしてください。ゲート保守メニューが表示されます。



「ゲート名」から時刻合わせをするゲートを選択し、「時刻あわせ」ボタンをクリックしてください。時刻合わせコマンドが正常に依頼できた場合は、下の画面が表示されます。



下の画面が表示された場合は、ゲート装置が未接続状態です。ゲート装置の電源や LAN ケーブルを確認し、もう一度時刻合わせを行ってください。



注) 制御ユニットの電源を ON にしてから、管理ソフトウェアと接続状態になるまで 5 分程度かかります。

## 6 AP ログオンの設定

メインメニューの各ボタンの操作に虹彩による認証を必要とさせることができます。

(1) 管理者のアクセスレベルを決定します。

管理者のアクセスレベルは、管理者以外のアクセスレベルより小さい値に設定する必要があります。  
アクセスレベルは1～99まで設定することができます。

アクセスレベル設定例

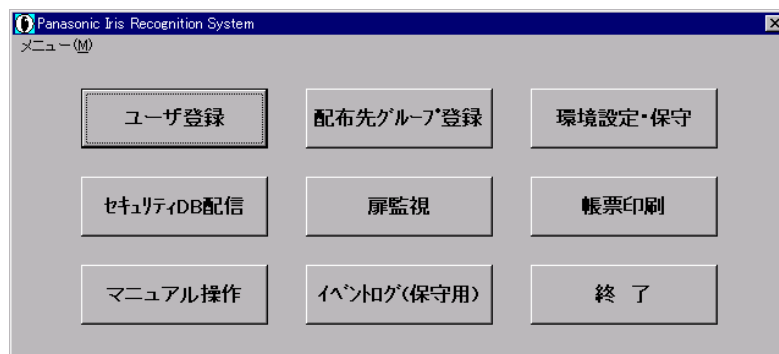
種別	アクセスレベル
管理者	30
管理者以外	50 (デフォルト)

(2) どの操作に AP ログオンを適用するか、決定します。

AP ログオンは、下記の「メインメニュー」画面のうち、「ユーザー登録」、「配布先グループ登録」、「セキュリティDB配信」、「扉監視」、「帳票印刷」、「終了」の各ボタンについて、それぞれ個別に設定することができます。

※) 登録機を照合機と兼用する場合は、AP ログオンは設定しないでください。

※) 「環境設定・保守」ボタンは、万一の障害時に備え、AP ログオン設定しないでください。

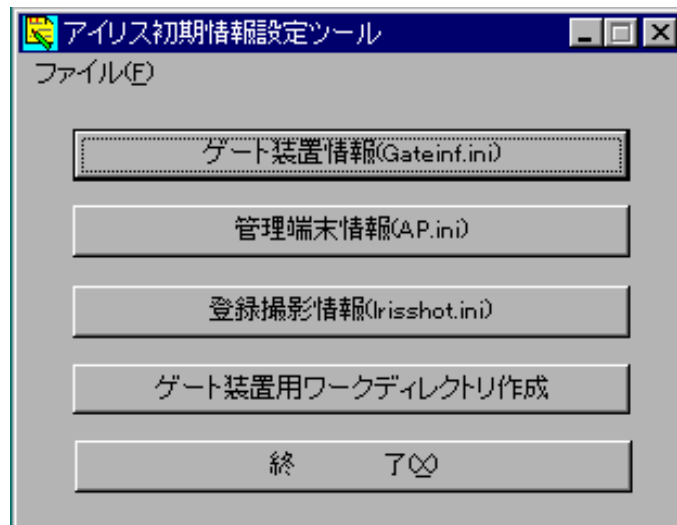


(3) アクセスレベルを管理者の値に設定した、管理者のアイリスを登録します。

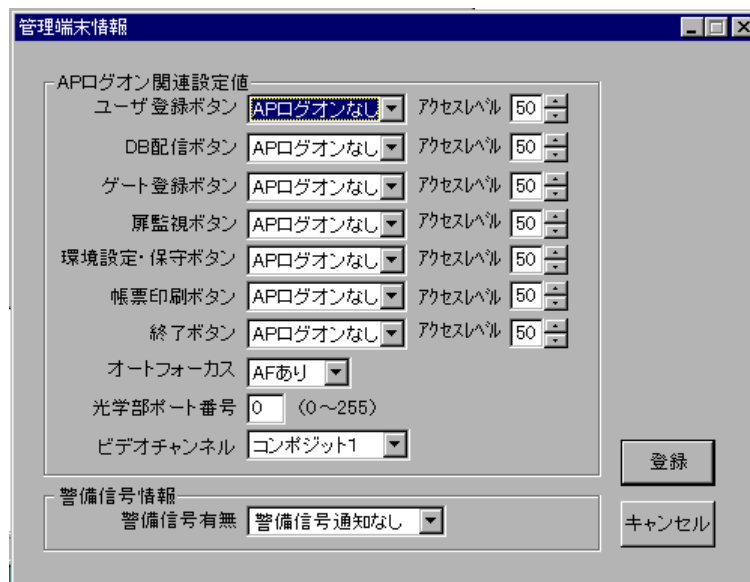
※) 本項を必ず実施してから(4)以降に進んでください。

(4) 「メインメニュー」の「終了」ボタンを押し、「虹彩入退室管理システム」を終了します。

- (5) エクスプローラから、C : ¥Iris¥IniMake.exe を実行します。  
実行すると、下記の「アイリス初期情報設定ツール」画面が表示されます。



- (6) 上記の画面が表示されたら、「管理端末情報(AP.ini)」ボタンを押します。  
ボタンを押すと、下記の画面が表示されます。  
「管理端末情報(AP.ini)」以外のボタンを押したときは「キャンセル」ボタンを押して画面を閉じてください。



- (7) 本画面で、「メインメニュー」画面の各ボタン毎に、AP ログオンの有無を設定します。  
AP ログオンを設定したいボタンに対して、「AP ログオンなし」を「AP ログオンあり」に変更します。また、「AP ログオンあり」に設定したボタンのアクセスレベルを、管理者のアクセスレベル値に設定します。  
オートフォーカス、光学部ポート番号、ビデオチャンネルおよび警備信号情報の設定は変更しないでください。

例として、ユーザー登録ボタンに AP ログオンを設定、管理者のアクセスレベルを「30」とした場合の設定画面を下記に示します。

項目	設定値	アクセスレベル
ユーザ登録ボタン	APログオンあり	30
DB配信ボタン	APログオンなし	50
ゲート登録ボタン	APログオンなし	50
屏監視ボタン	APログオンなし	50
環境設定・保守ボタン	APログオンなし	50
帳票印刷ボタン	APログオンなし	50
終了ボタン	APログオンなし	50
オートフォーカス	AFあり	
光学部ポート番号	0 (0~255)	
ビデオチャンネル	コンポジット1	

警備信号情報  
警備信号有無: 警備信号通知なし

注) 「配布先グループ登録」ボタンに AP ログオンを設定する時は、本画面の「ゲート登録」ボタンの項で「AP ログオンあり」と設定してください。

(8) 設定が終わったら、「登録」ボタンを押します。

ボタンを押すと、下記の画面が表示されるので、「OK」を押します。

登録が完了しました。  
OK

(9) これで設定は完了しました。

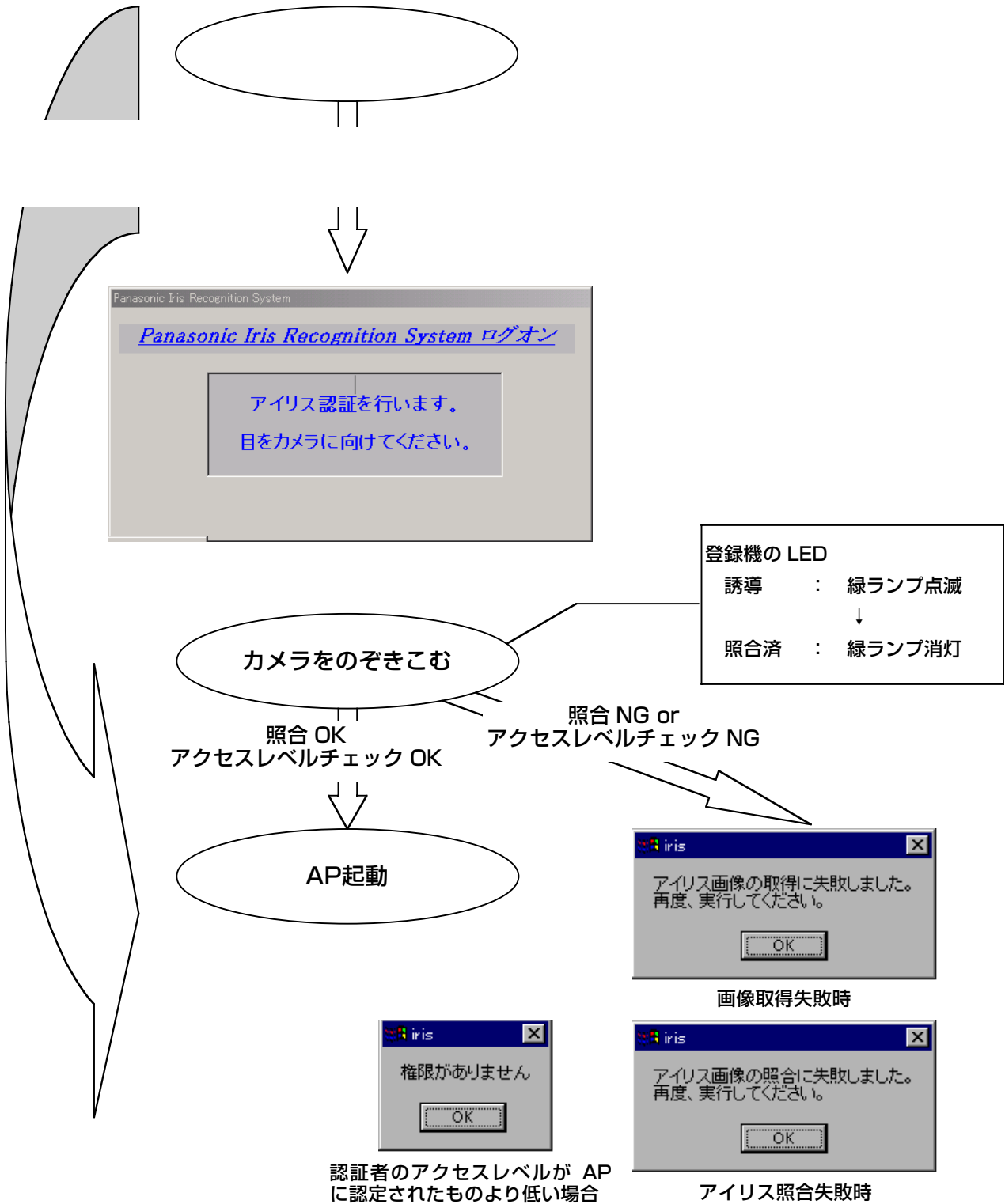
「キャンセル」ボタンを押して「アイリス初期情報設定ツール」画面に戻り、「終了」ボタンを押してください。



(10)設定の確認

「管理ソフトウェア」を起動後、AP ログオンを設定したボタンを押し、アイリス認証画面が表示されることを確認した上で、(3)項で登録した管理者が登録機によってアイリス認証を行い、それぞれの画面が起動されることを確認してください。

以下にメインメニューから AP を起動する処理の流れを示します。



※) 可能な限り、管理者は複数人登録してください。

※) 管理者が交代する場合、必ず旧管理者立ち会いの元で新管理者の登録作業を行っていただくよう、十分な説明を実施してください。(管理者が不在になると、アイリス登録などの機能が使用できなくなります。)

<b>便利メモ</b> おぼえのため 記入されると 便利です	お買い上げ日	年	月	日	品番	BM-ES500
	販売店名	☎ (      )      -				

## 松下電器産業株式会社

### AV&セキュリティビジネスユニット

〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号

電話 フリーダイヤル 0120-878-410

3TR001204BAA